

プログラムによるリマインダー / チケット予約プロセスの修了

ダイアグラムに戻って、カスタマーケアマネージャーが実行する予約承認のタスクに焦点を当てます。

このダイアグラムでは、タスク「Authorize Reservation -Customer Care Manager」に WebPanel「AuthorizeReservation 」を関連付け、関連データに「ReservationId」をマッピングしています。

アプリケーション記述

アプリケーション: AuthorizeReservation ...

データマッピング

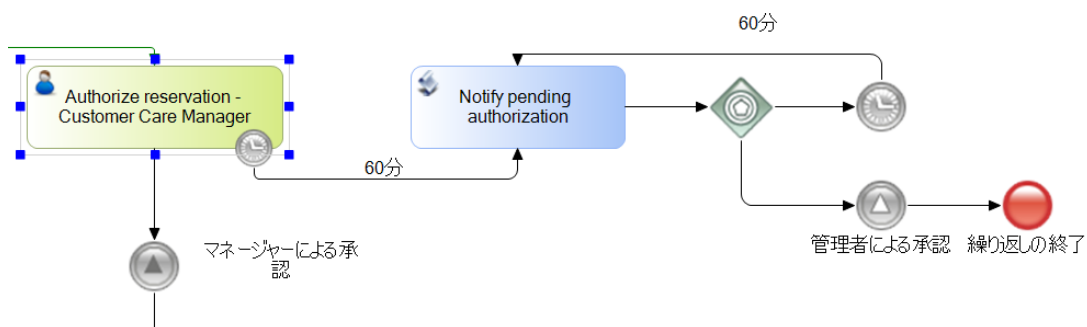
引数	関連データ
In: ReservationId	ReservationId

OK キャンセル

WebPanel には予約の詳細が表示され、顧客を評価する際に見たのと同様に、承認または拒否するための2つのボタンが表示されます。

OK をクリックし、保存します。

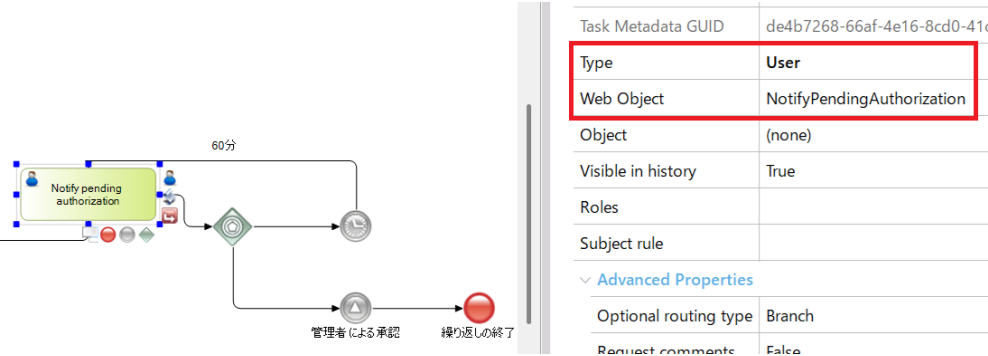
ここで、作成した自動通知を思い出してみましょう。



「Notify pending authorization」タスクは、電子メールなどを介してカスタマーケアマネージャーに通知を送信する手順を実行するバッチタスクです。

このパターンを簡単に確認できるように、バッチタスクを、画面に通知を表示するだけの WebPanel に関連付けられたインタラクティブタスクに置き換えます。

これを行うには、タスクのプロパティを開き、「Type」プロパティを「User」に変更し、タスクに WebPanel「NotifyPendingAuthorization」を関連付けます。



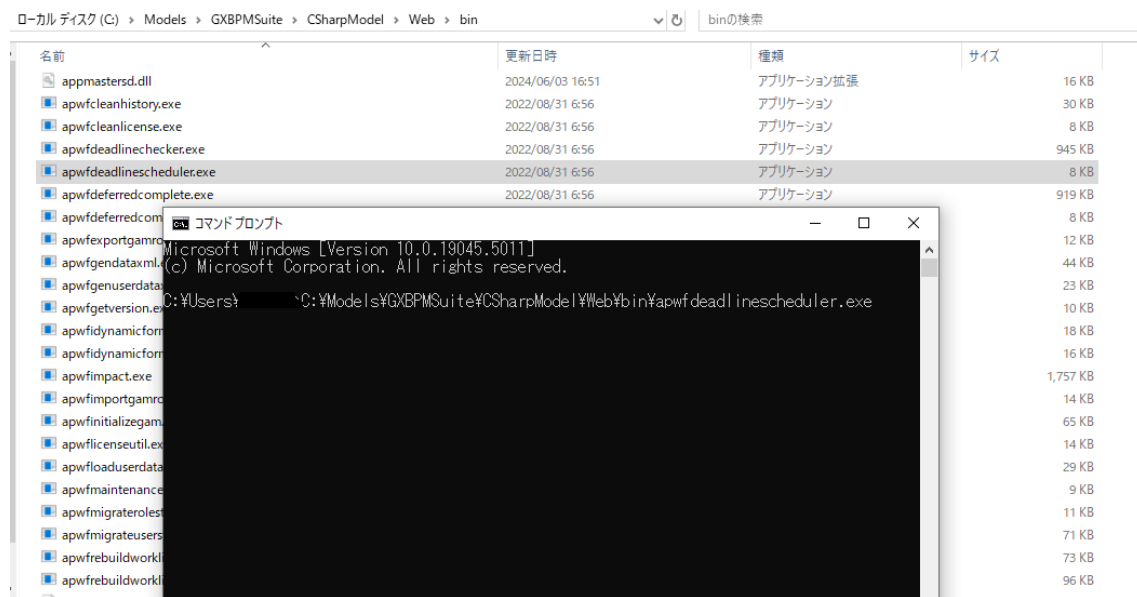
この動作を示すために、待機時間を 60 分から 2 分に変更します。そのため、両方のタイマーのルールプロパティ「Lapse expression rule」を編集し、値に 2 を入力します。

中間イベント: IntermediateEvent	
Name	IntermediateEvent
Trigger	Timer
Interrupts activity	False
Timer definition	Compatible
Timer usage	Deadline
Submit to calendar	False
Time unit	Minutes
Lapse expression type	Rule
Lapse expression rule	2

受信トレイにタイマータイプのイベントによって発生したアクションを表示するには、設定された期限をチェックするプログラムを実行する必要があります。

このユーティリティはコマンドラインから実行されるので、GeneXus IDE で、メニューバー→「ツール」→「ターゲット環境のディレクトリを開く」をクリックし、bin フォルダをクリックします。

コマンドプロンプトを開き、Windows エクスプローラーウィンドウから実行ファイル「apwfdeadlinescheduler.exe」をドラッグします。例えば 60 と入力して Enter キーを押下した場合、期限は 60 秒ごとにチェックされます。



期限スケジューラユーティリティに加えて、期限を一度だけチェックする期限チェッカーがあります。期限スケジューラは通常、プロトタイプ段階で使用され、期限チェッカーはワークフローが実稼働しているときに使用され、オペレーティングシステムの機能を使用して実行をスケジュールします。

GeneXus に戻り、ダイアグラム「FlightTicketReservation」を実行します。

「Add customer information required for traveling」タスクで、「送信」をクリックします。「Evaluate Customer」タスクが保留中であるため、次のステップに進まないことに注意してください。

実行すると、顧客を評価するための WebPanel 画面が開きます。

EVALUATE CUSTOMER STATUS

Customer financial authorization

Reservation #

Id	1
Name	John Parker
Address	650 Main Street, Houston, USA
Phone	555-1234556
Email	jparker@example.com
Added Date	24/08/01

AUTHORIZE

REFUSE

「AUTHRIZE」ボタンをクリックして、「Evaluate Customer」タスクを完了します。すると、「Check reservation documents」と「Authorize reservation – Customer Care Manager」のタスクが保留になっています。

「Check reservation documents」タスクには、ビザの読み取り操作を必須アクションとして設定したため、関連するドキュメントもあります。

タスクを実行すると、ドキュメントの操作ウィンドウが開きます。「読み取り」ボタンをクリックする代わりに、ウィンドウを閉じてタスクの送信をクリックします。

ドキュメントをまだ読む必要があることを示すエラーメッセージが表示されます。

GeneXus™
GXflow™

エラー
ドキュメント付きの保留アクションがあります

2024/11/14 - 16

デスクトップ

受信トレイ

新規

実行

送信

他のアクション

受信トレイ

送信トレイ

マイプロセス

マイドキュメント

マイパフォーマンス

対象

タスク

Flight Ticket Reservation

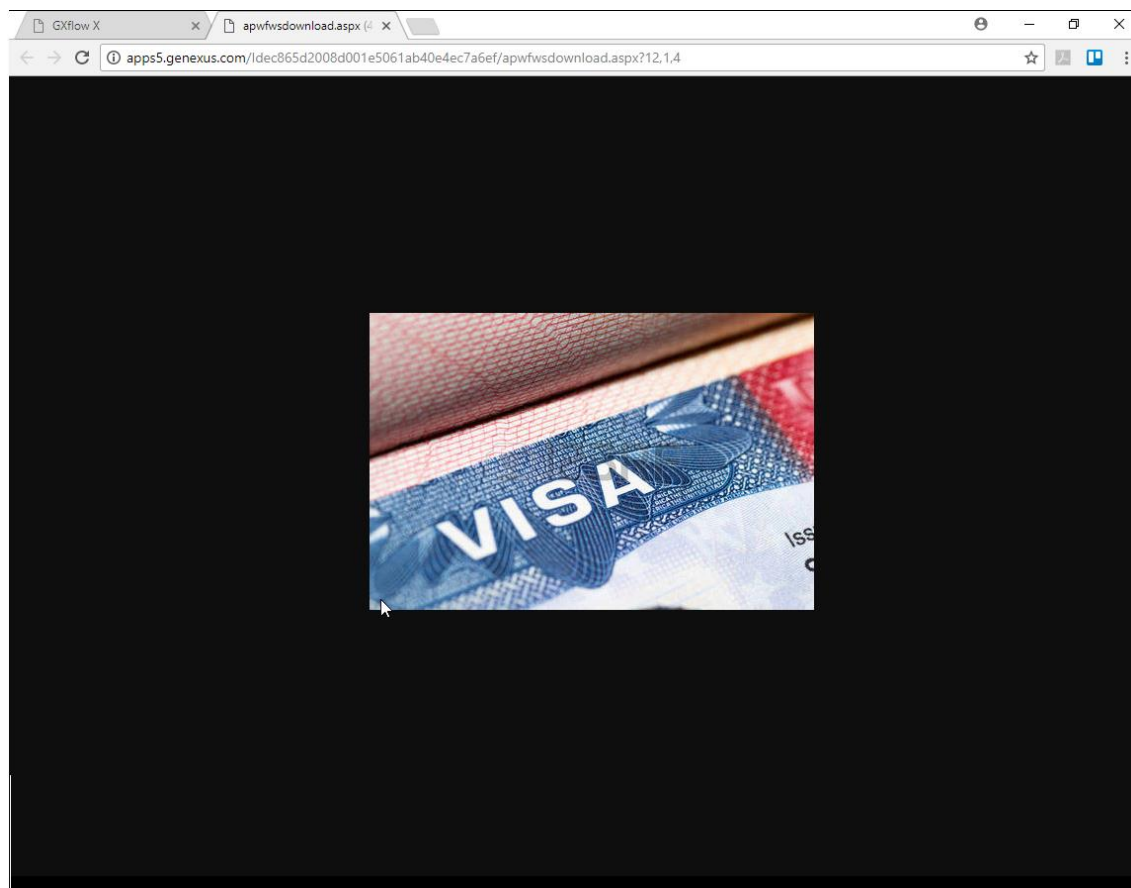
Check reservation documents

Flight Ticket Reservation

Authorize reservation - Customer C.

タスクを再度実行し、ビザ文書を選択して「確認」をクリックします。

ブラウザウィンドウが開き、文書が表示されます。この場合はビザの画像が含まれています。



ウィンドウを閉じてタスクを完了すると、受信トレイから削除されたことがわかります。



「Authorize reservation-Customer Care Manager」タスクを実行せず、2 分間待機します。

タスクに時計アイコンがあることに注目してください。

2 分以上経過後、ブラウザの更新ボタンをクリックします。

The screenshot shows the GXflow web application interface. On the left is a sidebar with navigation options: DESKTOP, PROCESS MANAGER, DOCUMENT MANAGER, EVENT VIEWER, STATISTICS, DYNAMIC FORMS, BACKEND, MANAGEMENT CONSOLE, and SERVER SETTINGS. The main area displays an 'INBOX' with a table of tasks. The table has columns for 'Subject', 'Task', and 'Created'. Two tasks are listed, both with a clock icon in the 'Subject' column. Below the table, a process diagram is shown. It starts with a green arrow pointing to a task box labeled 'Authorize reservation-Customer Care Manager'. This box has a clock icon and a '60 minutes' timer. An arrow leads from this box to a yellow box labeled 'Notify pending authorization', which also has a clock icon and a '60 minutes' timer. From the yellow box, an arrow leads to a green diamond-shaped decision box. From the decision box, two arrows lead to a red circle, which is the end of the process.

Subject	Task	Created
Flight Ticket Reservation	Notify pending authorization	08/04/17 05:31 PM
Flight Ticket Reservation	Authorize reservation-Customer Care Manager	08/04/17 05:28 PM

2 分後、対話型タスク「Notify Pending Authorization」が受信ボックスに表示されます。これはタイマーによってトリガーされた通知です。これを実行して、承認保留中の通知を表示してみましょう。

The screenshot shows a dialog box titled 'NOTIFY PENDING AUTHORIZATION'. The text inside reads: 'You have a reservation pending of authorization, please check your inbox.' Below the text is a button labeled '実行' (Execute).

「実行」をクリックしてウィンドウを閉じ、「送信」をクリックしてタスクを完了します。

これらの通知は、マネージャーがタスクを実行するまで 2 分ごとに表示されます。

それでは、承認タスクを実行し、「AUTHORIZE」をクリックします。

AUTHORIZE RESERVATION

Reservation Information

Id

18

Date

08/03/17

Qty

1

Customer Name

John Parker

Departure Airport

Carrasco

Montevideo

Uruguay

Arrival Airport

Guarulhos

Sao Paulo

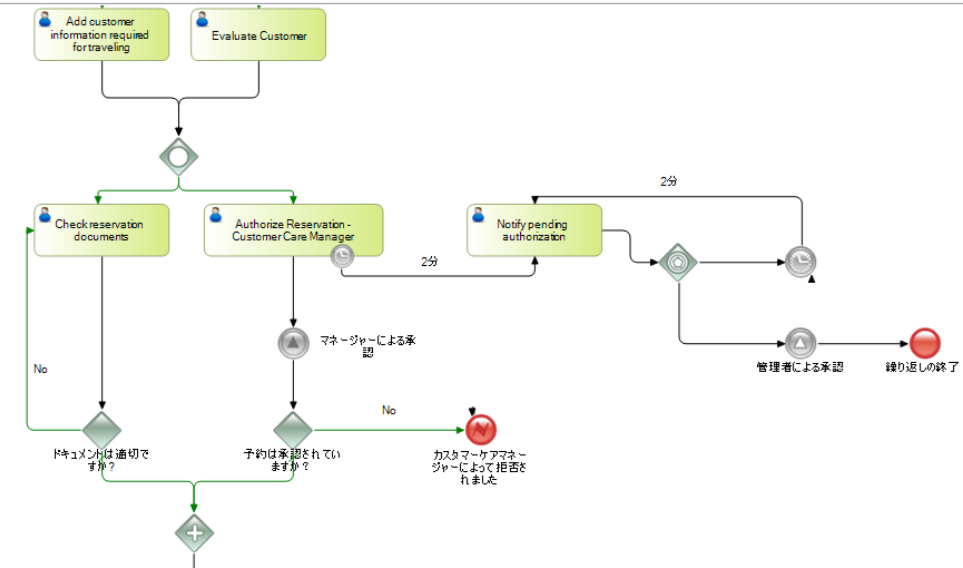
Brazil

AUTHORIZE

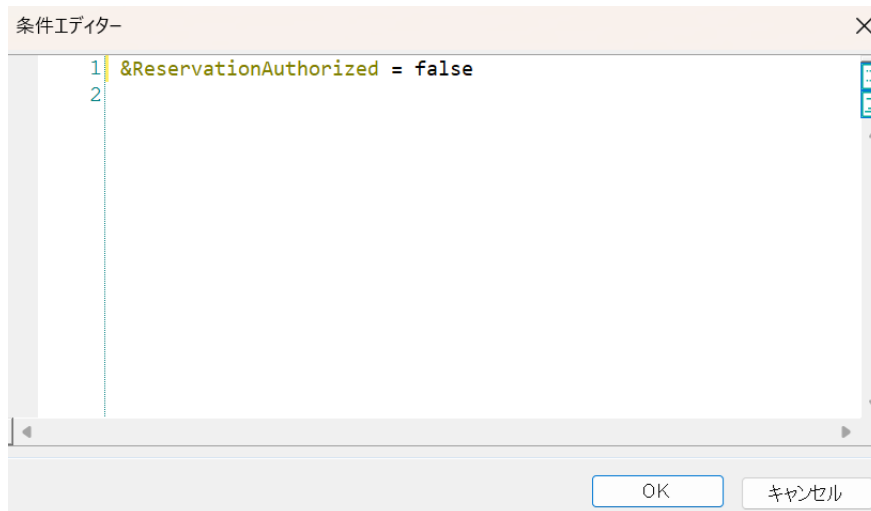
REFUSE

タスクを完了して数分間待ちます。

タスクの後に配置されたシグナルイベントが他のシグナルイベントにメッセージを送信し、この通知ループをキャンセルしたため、通常の通知は表示されなくなりました。



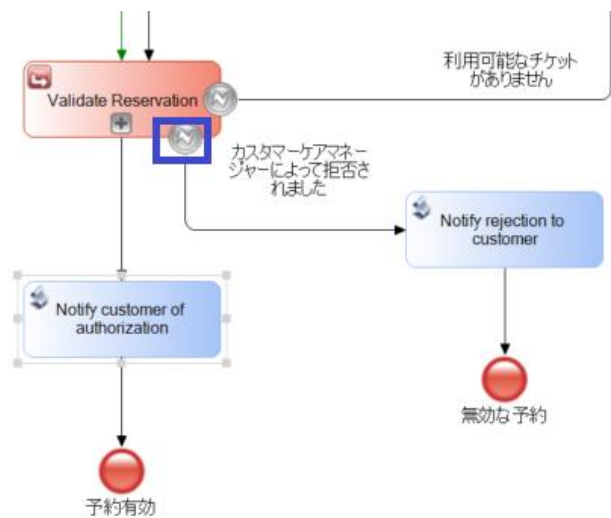
ダイアグラムに戻ると、シグナルイベント「マネージャーによる承認」が、予約が承認されたかどうかを評価する排他的なゲートウェイに送られていることがわかります。この決定を設定するには、ゲートウェイとエラーの終了イベント「カスタマーケアマネージャーによって拒否されました」を結合するコネクタをダブルクリックし、条件エディターで「&ReservationAuthorized = False」と入力します。



このエラーイベントは、カスタマーケアマネージャーが予約を承認しなかったため、予約検証プロセスがキャンセルされたことを「FlightTicketReservation」プロセスに通知します。そのプロパティでは、割り当てられたエラーコードを確認します。

▼ 終了イベント: カスタマーケアマネージャーによって拒否されました	
Name	カスタマーケアマネージャーによって拒否されました
Trigger	Error
Error code	REJECTED_BY_CUSTOMER_CARE_MANAGER

「FlightTicketReservation」プロセスには、キャッチとして設定され、同じ名前を持つシグナルエラーイベントがあります。



最も重要なのは、同じエラーコードを持っていることです。これにより、「ValidateReservation」サブプロセスでトリガーされたイベントを確実にキャプチャできます。その結果、通知メッセージが顧客に送信されます。

▼ 中間イベント: カスタマーケアマネージャーによって拒否されました

Name	カスタマーケアマネージャーによって拒否されました
Trigger	Error
Error code	REJECTED_BY_CUSTOMER_CARE_MANAGER

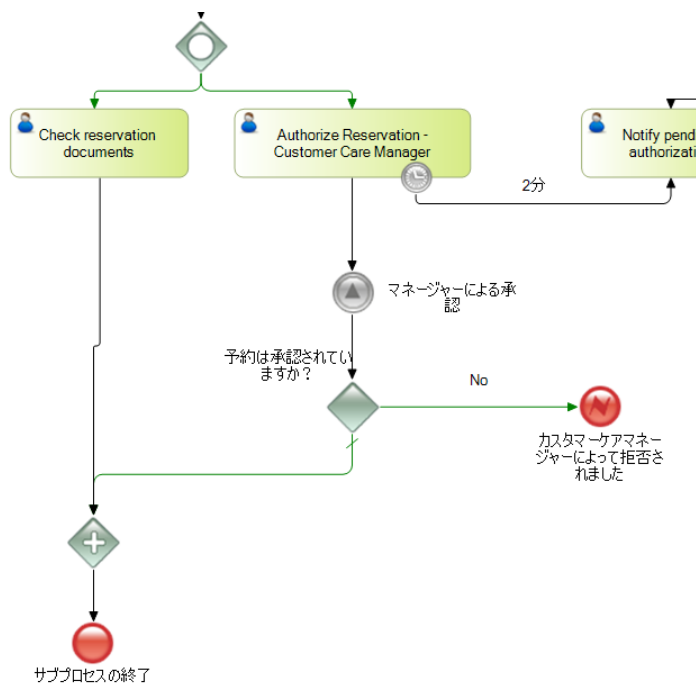
「Validate Reservation」サブプロセスに戻ると、文書修正タスクも排他的なゲートウェイで終了していることがわかります。この場合、文書が適切かどうかを評価します。そうでない場合は、「Add customer information required for traveling」タスクを再度実行する必要があります。

モデルを作成する当初、ユーザータスク「Check reservation documents」は、後で排他的なゲートウェイで評価される値を持つ関連データ変数をロードする GeneXus オブジェクトに関連付けられると想定しました。

ただし、読み取り操作を作成し、それを必須として設定しているため、同じワークフローエンジンがドキュメントを読んだかどうかをチェックしていることがわかりました。

したがって、タスクが実行されたかどうかを確認するためのゲートウェイは必要ありません。タスクを実行すると、エンジン自体によって制御が行われるためです。このドキュメントを読んでいない場合、続行することはできません。

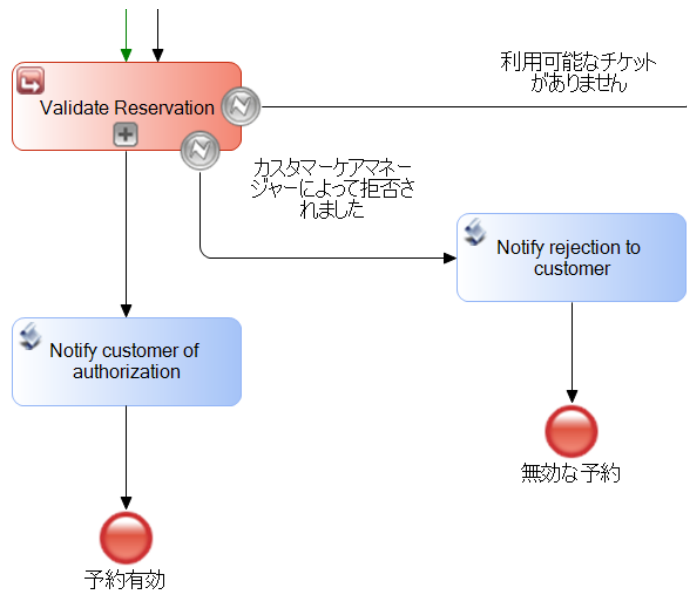
排他的なゲートウェイ「ドキュメントは適切ですか？」を削除してダイアグラムを変更します。その結果、「Check reservation documents」タスクが並列ゲートウェイに直接接続されるようになりました。



並列ゲートウェイは、ダイアグラム内で接続されているすべてのパスを同期し、すべてのパスが到着するまで待機して、プロセスを続行できるようにします。

ドキュメント管理タスクを実行してドキュメントを確認すると、予約がカスタマーケアマネージャーによって承認されている場合、並列ゲートウェイはフローを続行し、サブプロセスは終了します。

この場合、検証は正常に終了したため、制御は「FlightTicketReservation」メインプロセスに戻ります。



検証が成功してこのプロセスに戻ると、予約が承認されたことが顧客に通知され、チケット予約のプロセスは終了します。

次の章では、旅行代理店の新しい要件を満たすためにダイアグラムに変更を加えます。